

●2025年度友の会会員を募集します

美術館友の会で心豊かな一年を！

中山道広重美術館では友の会会員を募集しています。美術館をもっと楽しんでいただくための各種特典が満載。美術と共に心豊かな暮らしを楽しんでみませんか。

●会員の種別と特典

〔一般会員〕

- ①展覧会（企画展および特別企画展）の通年無料観覧
- ②同伴者2名まで割引観覧
- ③ミュージアムショップの5%割引（一部除外商品あり）
- ④展覧会広報物や会員限定ニュースレターの送付
- ⑤会員限定イベント（年1回程度）へご招待
- ⑥展覧会関連イベントおよび次年度連続講座の先行予約受付
- ⑦招待券進呈（10枚）

〔賛助会員〕

一般会員の特典に加えて、

- ⑧同伴者2名まで観覧無料
- ⑨当年に図録を発行した場合、1冊進呈

●年会費

会員種別	区 分	年会費
〈一般会員〉	一 般	3,000円
	学 生	2,000円
〈賛助会員〉	個人・法人・団体（一口）	8,000円

●お申し込み方法

美術館に備え付けの申込用紙に記入後、美術館受付で会費を添えてお申し込みください。（学生の方は学生証をご提示ください）お電話や当館ホームページのお問い合わせフォームからの仮申し込みも受け付けます。

●その他

会員資格は毎年4月1日から翌年の3月31日までの1年間です。

※中途退会される場合、会費の払い戻しはありません。
※ご入館の際は必ず受付に会員証をご提示ください。
※連続講座受講生は、受講料のお支払いにより自動的に友の会一般会員となります。別途入会手続きは必要ありません。

皆さまのご入会をお待ちしております。



●美術館ボランティアを募集しています

美術館ボランティアを始めてみませんか。

中山道広重美術館では、年間を通じてさまざまな形で館の活動にご協力いただけるボランティアスタッフを随時募集しています。活動をしていただくと、展示解説の事前学習、ボランティア研修会などに参加する機会ができ、仲間の輪が広がります。

●活動内容

- ・浮世絵ナビルームの案内、体験コーナーの補助や説明
- ・来館者への館内説明、展示解説、広報物の発送作業
- ・展覧会会場設営の補助、展示室での監視
- ※交通費・昼食費などの金銭的な報酬はありません。

●活動条件

- ・おおむね週1日以上活動できる方
- ・活動を始める前にボランティア養成講座を受講できる方。
- ※養成講座は随時開講します。詳しくはお問い合わせください。
- ▲その他、館周辺の美化活動、生け花など、さまざまな形で活動されている方もいらっしゃいます。

●お申し込み方法

ボランティア活動に興味をお持ちの方は直接ご来館いただくか、お電話または当館ホームページのお問い合わせフォームからお気軽にお問い合わせください。

●第21回広重賞恵那市子ども版画コンクール
受賞者決定

広重賞に「駅前の夕方」

第21回広重賞恵那市子ども版画コンクールには市内34のこども園・保育園・小中学校から2,236点の応募があり、このうち171点が入賞・入選しました。主な入賞作品は、広重賞「駅前の夕方」（中学3年生）、市長賞「おつかれさま」（中学2年生）、市議会議長賞「入れー！」（小学3年生）などです。受賞された皆さま、おめでとうございます。作品展は、当館展示室2（2F）で2月18日（火）から3月2日（日）まで開催されました。



左：【広重賞】
「駅前の夕方」（中学3年生）
左上：【市長賞】
「おつかれさま」（中学2年生）
右上：【市議会議長賞】
「入れー！」（小学3年生）

〈令和7年度中山道広重美術館フリーウエズデー・フリーフライデー スポンサー企業のご紹介〉

令和7年度（2025.4-26.3）は以下の企業のご協賛により、開館日の毎週水曜日、毎週金曜日はどなたでも無料で展覧会をご覧いただけます。

協賛企業	FREE WEDNESDAY	毎週水曜日は観覧無料、フリーウエズデー 〈スポンサー〉(株)エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株)デジタ
	FREE FRIDAY	毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー 〈スポンサー〉(株)銀の森コーポレーション、カネコ・楽園住宅・木KeyPoint、 (株)サラダコスモ ちこり村



中山道広重美術館

〒509-7201
岐阜県恵那市大井町 176-1
TEL(0573)20-0522 FAX(0573)25-0322
<https://hiroshige-ena.jp>
* JR 中央線恵那駅から直進徒歩約5分
* 中央自動車道恵那インターから約5分
ウェブミュージアムショップ↓
<https://enahiroshigemuseum.stores.jp>

美術館ホームページ



hiroshige_ena

ウェブミュージアムショップ



hiroshige_ena_museum

#nakasendohiroshigemuseumofart



三代歌川豊国「今様見立 土農工商 職人」〔前期〕メーテレ（名古屋テレビ放送）蔵

Spring Special Exhibition Exploring Ukiyo-e Publishing in Edo

春季特別企画展

Exhibition dates

Period 1: April 3rd (Thu) – May 6th (Tue)

Period 2: May 10th (Sat) – June 15th (Sun)

会期
2025年

4.3(木)–6.15(日)

【前期】4月3日（木）–5月6日（火・振休）

【後期】5月10日（土）–6月15日（日）

▶4月22日（火）～5月6日（火・振休）は休まず開館

潜入！江戸の浮世絵出版社

中山道広重美術館
Nakasendo Hiroshige Museum of Art

潜入！江戸の浮世絵出版社

会期
2025年

4.3(木) - 6.15(日)

【前期】4月3日(木)～5月6日(火・振休)

【後期】5月10日(土)～6月15日(日)

▶4月22日(火)～5月6日(火・振休)は休まず開館

【関連イベント】

■学芸員による作品ガイド

日時：前期4月20日(日) 後期6月1日(日)

各日午前10時30分から40分程度

場所：展示室1、2(1、2F)

■美術館ボランティア幽遊会による概要説明

日時：随時(要事前予約)

観覧料 一般820円(660円)()内は20名以上の団体料金
▲18歳以下、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(ただし4月28日、5月5日は除く)、
5月7日(水)～9日(金)は展示替えのため休館。

主催 恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館
協力 メ〜テレ(名古屋テレビ放送)

浮世絵版画(錦絵)の企画・制作・販売を統括した、江戸時代の出版社・版元(地本問屋)に注目。葛屋重三郎(耕書堂)をはじめとする版元の仕事を掘り下げ、ヒット作を生み出すための販売戦略や出版流通の様相を探ります。さらに、浮世絵師・歌川広重の画業を概観しながら、「めいしよ広重」を

プロデュースした主要な版元たちをご紹介します。

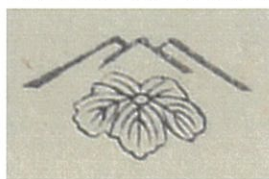
商業出版物として大量生産された浮世絵の一側面に焦点を当てると共に、絵師・彫師・摺師による制作のウラ側へ潜入！する展覧会です。

見どころ①

潜入！江戸の浮世絵出版事情

多色摺の浮世絵版画である錦絵は、版元(地本問屋)による指示の下、絵師・彫師・摺師の分業体制で量産された商業出版物です。版元は、現代の出版流通における出版社、取次会社、小売書店という3者の仕事を一手に担っていました。本展は、葛屋重三郎(耕書堂)をはじめとする版元たちに着目。約156点の浮世絵版画から、時流に敏感な版元たちの販売戦略を探ります。

葛屋重三郎 耕書堂



①

佐野屋喜兵衛 喜鶴堂



②

葛屋吉蔵 紅英堂



③

伊場屋仙三郎 団扇(仙)堂



④

見どころ②

潜入！浮世絵師・歌川広重のサクセスストーリー

今や日本を代表する画家の一人として知られる歌川広重も、版元からの依頼を受け、コンセプトや制作コストなどの意向に合わせて作画を手掛けていました。20代のデビュー当初は役者絵や美人画を中心としていましたが、30代頃から風景画を任されるようになり、50代には「めいしよ広重」として浮世絵師番付の人気3位にランクイン。その成功の裏には、さまざまな版元との関わりがありました。本展では、出世作の「東海道五拾三次之内」(保永堂版)や最晩年の「名所江戸百景」などの代表作を通して、風景画家としての広重の足跡をたどります。

竹内孫八 保永堂



⑤

川口屋宇兵衛 栄川堂



⑥

山田屋庄次郎 錦橋堂



⑦

魚屋栄吉



⑧



三代歌川豊国「今様見立 土農工商 職人」[前期]
メ〜テレ(名古屋テレビ放送)蔵

Museum
Shop
News

ミュージアムショップから

立体感のあるアートマグネットが入荷！

ミュージアムショップでは、春季特別企画展「潜入！江戸の浮世絵出版社」に合わせて、オリジナルポストカードを販売いたします。また、株式会社ペノンのアートマグネットも販売いたします。美濃焼のタイルを使用して、多治見市の職人さんが製作している立体プリントのマグネットです。本来破棄される土を50%以上配合したアップサイクルタイルであることも特徴の一つです。ぜひお気に入りをお土産にお持ち帰りください。

右：オリジナル絵はがき 330円
下：PENON アートマグネット
各700円 ※価格はすべて税込



見どころ③

潜入！浮世絵制作のウラ側

当館2階「浮世絵ナビルーム」の「重ね摺り体験コーナー」では、浮世絵版画の「摺り」の工程を、摺師になりきって疑似体験できます(無料、要入館料)。本展会期中は、下記の作品を設置予定です。美術館全体で、浮世絵の世界をご体感ください。



【前期：4月3日(木)～5月6日(火・振休)】

a喜多川歌麿「婦女人相十品 ポッピンを吹く娘」版元：葛屋重三郎(耕書堂)

b葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」版元：西村屋与八(永寿堂)

c歌川広重「名所江戸百景 浅草金龍山」版元：魚屋栄吉



【後期：5月10日(土)～6月15日(日)】

d東洲斎写楽「三代目大谷鬼次の江戸兵衛」版元：葛屋重三郎(耕書堂)

e葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」版元：西村屋与八(永寿堂)

f歌川広重「富士三十六景 さがみ川」版元：葛屋吉蔵(紅英堂)



出典(a,b,d,e):東京国立博物館(ColBase)

※実物作品は本展では展示されません。

c, fは中山道広重美術館蔵

▲「重ね摺り体験」した作品は、お持ち帰りいただけます。

●2025年度連続講座受講生募集

出版190年記念

「木曾海道六拾九次之内」大解剖

溪斎英泉と歌川広重による「木曾海道六拾九次之内」は、天保6年(1835)に制作・出版が開始されたと考えられており、令和7年(2025)は190年の節目に当たります。本連続講座では、本シリーズを取り巻くさまざまな要素を掘り下げます。

〈講座日程・内容〉

第1回 4/12(土)

「木曾海道六拾九次之内」入門

常包 美穂(中山道広重美術館学芸係長)

第2回 5/17(土)

江戸庶民の旅と歩行

谷釜 尋徳(東洋大学法学部教授)

第3回 6/21(土)

名所図会とその周辺

藤川 玲満(お茶の水女子大学文教育学部准教授)

第4回 9/7(日)

錦絵の生産と流通

大久保 純一(国立歴史民俗博物館教授・町田市立国際版画美術館館長)

第5回 10/4(土)

溪斎英泉が描いた世界

松田 美沙子(山梨県立博物館学芸員)

第6回 11/9(日)

歌川広重の画業と生涯

浅野 秀剛(大和文華館館長)

※肩書・略歴等は2025年1月時点のものです。
日程・内容等を変更する場合がございます。

時 間：各回 午後1時30分～3時30分(予定)

受講料：4,000円(全6回)

場 所：中山道広重美術館 3階講座室

▲講座生は中山道広重美術館友の会一般会員の特典が受けられます。

▲単独受講の当日席(若干数)は1回500円(観覧料別)。

事前予約不可、先着順。

【お申し込み方法】

美術館受付に備え付けの申込書に必要事項をご記入の上、受講料を添えて直接ご提出ください。お電話やお問い合わせフォームからの仮申し込みも受け付けます。なお、定員(50名)になり次第締め切ります。

受付開始：2025年3月7日(金)から

(開館日の午前9時30分～午後4時30分)



左：歌川広重「木曾海道六拾九次之内 中津川」中山道広重美術館蔵(田中コレクション)

右：歌川広重「木曾海道六拾九次之内 大井」中山道広重美術館蔵(田中コレクション)

※秋季特別企画展 後期日程(11/7～12/7)にて出品予定